

第0章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

第10章

第11章

第12章

第13章

第14章

DOLPHINROSE

AC 無料講座

第5章

『AC ができるしくみ』





目次

1. ごあいさつ
2. 右脳・左脳のお話
3. いろいろな能力

※本教材、および収録されているコンテンツは、著作権、知的財産権によって保護されております。

教材に含まれているコンテンツを、その一部でも、書面による許可(ライセンス)なく複製、

改変するなどして、またあらゆる データ蓄積手段により複製し、

オークションや インターネット上だけでなく、転売、転 載、配布等、いかなる手段においても、

一般に提供することを禁止します。

1.

ごあいさつ

こんにちは(^^♪ゆうです。

第5章では、『ACが出来るしくみ』についてご説明していきますね(^^♪

まず最初にお伝えしておきたいのは

アニマルコミュニケーションとは「摩訶不思議な能力」ではありません。

ということ。

そこには、コミュニケーションが成立する「仕組み」というものがちゃんと存在します。

漠然と「何か凄いもの」を習得する・・・という気持ちで練習に臨むと、簡単に出来るものも出来なくなってしまいます。

ACが出来るからくりが分かっていると、「こうやったら、この後こうなるのよね…」と次に起こることを予測することも出来ますし、

自分に何が起きているのかも分かるので、やみくもに漠然と取り組むのではなく、**心の中が整理された状態で効率よく練習をすることが出来ます。**

- 自分が今、何のために
- どのような行為を行っているのか？
- どのテクニックや能力を使っているのか

これらを**知っている、自覚している**ということがACを行う上でとても大切なことなのです。

例えば自販機でジュースを買う時…

- ① お金の投入口にお金を入れて
- ② 買いたいジュースのボタンを押して
- ③ 落ちて来たジュースを取り出し口から取り出す…

その1つ1つの行為を何のためにするのか、理由も分かった上でやっていますよね？

お金を入れていないのに「どうしてジュースが出て来ないんだろう？」って思ったり、逆にお金を入れてボタンを押して「どうして飲みたいジュースがちゃんと出てくるの？」って不思議がったりしませんよね(^^ゞ

私たちは「お金を入れないとジュースが出てこない」ことも知っていますし、「飲みたいジュースのボタンを押したら飲みたいジュースが出てくる」ことも知っています。

ACのテクニックを使う時、その手順1つ1つが

- どうしてそのような行為をするのか？
- 何のためにそれをするのか？
- それによってどんな効果があるのか？

分かっているのと、いないのとでは、その後の結果が全然違うのです。

自分の中で仕組みを理解することは「**練習の効率を上げる**」ことにも繋がります。

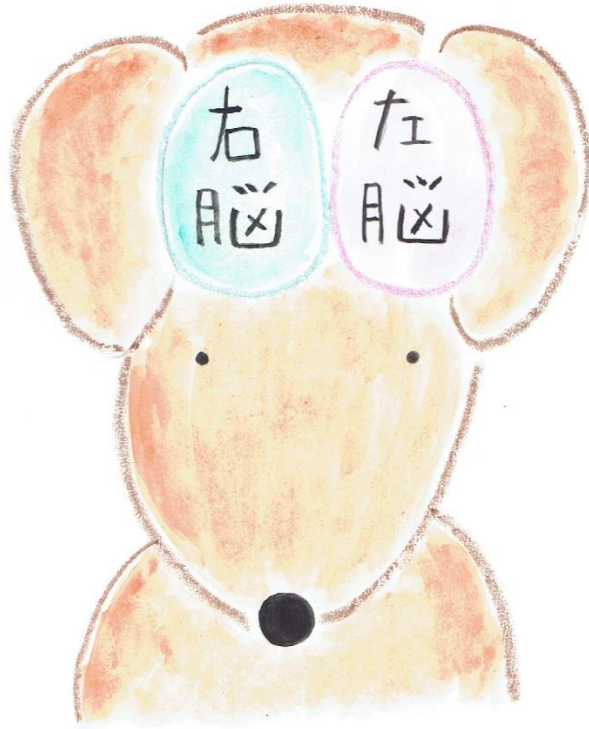
漠然と多方面に力を分散せず、目標を定めて「ピンポイント」で一か所に集中して、力を入れることも可能になります。

皆さんはACの仕組みを知っていますか？

今日はその中でも、一番大切な「右脳と左脳」のバランスについてお話しますね。

2.

右脳・左脳のお話



私たちの脳は、「脳梁（のうりょう）」を真ん中にして「右脳」と「左脳」の2つに分かれているということは既にご存知だと思います。

役割としては一般的に言われているのは

【右脳】

直感力、音楽力、図形力、全体を見渡す力、空間認知力に優れている。

五感で感じた感覚・感性を直感的・総合的に認識することが出来ます。

【左脳】

言語力、論理的に考える力、計算力、物事の分析力に優れている。

思考や論理を司る人間的な脳と言われています。

こうやって見てみると、

- ・右脳は本能的な役割
- ・左脳は人間的な役割

とも言えそうですね。

ACをする際に、働いてもらう率が高いのは「右脳」になります。

割合としては、**右脳：左脳=7：3**くらいだと思ってください。

ここで、余談ですが、DolphinRoseでは、天使とのチャネリングの講座もあります。

では、天使と話す時の割合は？という**右脳：左脳=9：1**くらいなんです。

動物相手のACの場合は、天使の時よりも、左脳が起きていなくてはいけないということになります。

7：3と9：1とどちらが簡単かと言うと、実は「9：1」なのです。
ほぼ右脳全開にすれば良いので、左脳を黙らせるだけで済むからです。

一方、

ACは右脳を一度全開にしつつも、同時に少しずつ左脳を起こしていかなくてはいけません。

ACを難しいと感じている人はこの辺りのバランス加減や、左脳の起こし方、もしくは右脳の開き方に難しさを感じているのかもしれませんがね。

右脳：左脳＝7：3にするためには、数字の割合だけ見てみるといつもより少し右脳を増やして、いつもより少し左脳を減らせばいけそうな気がしますが、これは私の勝手な憶測ですが、**普段の実生活での右脳左脳の割合は「2：8」くらいなのではないでしょうか？**

そして左脳は思考を司っていますのでいつも右脳優勢に過ごしている人は本当に稀だと思います。

赤ちゃんや小さい子は右脳が優勢だと言われています。

本能のままに生きている時代ですね(^_^)

私たちは理性や言語機能がないと生活出来ませんので、どうしても左脳を多く使って生活しています。

ACをする際は、普段の生活とは全く違うことをしなくてはいけないというのが、なんとなくお分かりいただけますでしょうか？

ACをするということは、**今、自覚しているこの状態を一旦手放す**ということになるので、自分が感じ取ったことをリアルに感じられないので人によっては恐れを伴うのです。

右脳は五感を感じるのが得意とご説明しましたが、実は人間には五感の他に第六感も存在します。

インスピレーションとも靈感とも言われる部分です。

ACをする際は、この第六感も必要になります。

ここまで読まれて不安になった方がおられるかもしれませんが、安心してください。

五感と同じように、第六感も誰でも感じる事が出来るからです。

普段無意識に受け取ったり、そもそも感じているけれども無視したりしているので、気づいていないだけです。

五感もそうですよね？

朝、目が覚めて「うわ、私目が見えてる！」とか、
「今日も音が聞こえる！」とか、
「食べ物の味が分かる！」など、
一々驚きません。

何故なら五感は「当たり前」の感覚だからです。

第六感も一緒。

実際に第六感を感じられるようになった時には「当たり前」という感覚になっているので
「わ、私今第六感を使ってる！」と気づいたり、驚いたりするものではないのです。

ただ…先程も説明しましたように普段私達は右脳を使っている割合が少ないので、必然的に第六感を使っている割合もとても小さいのです。

ここは意識的に、**筋トレのように鍛えていくことが必要**だと知っておいて下さいね。

ACをする上で、厄介な存在。それは「左脳」です。

左脳は「右脳」が優位に立つと人間界でまともに生きていけない為、右脳が優位にならないよう常に監視しています。

ちょっと変わったことを右脳で感じたら「頭がおかしい人になっちゃう」と、元に戻そうとします。

「動物と話せるなんてこと出来るわけがない」

「他の人に出来ても私には出来るはずがない」

もし飼い主さんから「その通りです。合ってます。」と言われたとしても

「今回はまぐれに違いない。」

「次からはもう出来ないに違いない。」

そしてやっている最中に何か受け取っても「これはきっと私の想像に違いない。」などなど、

左脳はとにかく「自分を疑います」

でもこれは私たちが人間界で普通に生きていくためにはどうしても必要な機能です。

もし、ここが壊れてしまったら、かなりメルヘンな世界で暮らすことになってしまいます(>_<)

そこで左脳に邪魔されないために、左脳と仲良くする…つまり、**左脳に協力してもらう必要がある**のです。

左脳の悪口ばかりを書いてしまいましたが、**左脳は AC をする上ではとても必要な存在**です。

ここでもう一度右脳と左脳の割合を思い出して欲しいのですが、

天使は 9 : 1 で良いのに、AC は 7 : 3

天使と繋がる時より、左脳を 3 倍働かせていないといけないのです。

左脳は「言語」「記憶」「分析」「論理」などを司っています。

この中で、AC では、動物から感じ取った感覚を「言葉」に直します。

そして、動物への質問を考える時に「分析」や「記憶」を使います。

問題行動などを解決する際には「記憶」「分析」「論理」を駆使します。

私は、AC は 100%動物側の味方につく「弁護士」だと思っています。

(↑これはあくまで私個人の感覚です)

AC はただ動物たちから感じたことを伝えるだけではなく、

- 出来るだけ動物側の有利になるよう、そして動物側の要望が通るよう、言葉を選んだり
- 今までの自他問わず数々の例を参考にしたり
- 学んで来た動物の知識を思い出したりしながら検討したり

そして、分析、論理なども使って、飼い主さん側にお伝えしていくのです。

左脳が AC にとっていかに必要不可欠かということがお分かりいただけると思います。

それから左脳の名誉のためにもう一つ

実は左脳は妄想が暴走しないための「ストッパー」の役目を果たしています。

AC を練習していて一番怖いのは自分の妄想の暴走です。

左脳の「ちょっと待って。これ本当は自分の想像じゃない？」というストッパーがなかったら、自分の好き勝手な想像をべらべらと飼い主さんに伝えることになってしまいます。

左脳の声が過度に気にして臆病になるもの良くありませんが、左脳の疑いの声に耳を傾けることはとても大切なことなのです。

では、右脳、左脳をバランスよくどちらも起こしておくためにはどうしたら良いのでしょうか？

それには、一度右脳を全開にして左脳には「邪魔」ではなく**必要な部分だけ「協力」**をしてもらえば良いのです。

左脳は仕事を与えないと暇なので「ああでもない」「こうでもない」とすぐに否定モードに入ってしまう。

そうならないためには、左脳が暇だと感じる前に「興味」を持ってもらいます。

左脳は一旦「興味」を持つとどんどん集中していきます。

「ここはどうなっているんだろう？」

「どうしてこれはこうなんだろう？」

「そもそもこうだからかなあ…？」

この「興味モード」に入ってくれば「否定」をしなくなります。

「否定」は左脳が起きている限り完全にはなくなりませんが、それでも左脳に興味を持たせれば、極力「否定」を減らすことが出来るのです。

この辺りは、また別の章でじっくりと説明させていただきますね(^^♪

3. いろいろな能力

第4章では、様々な ACのテクニックについてお話ししました。

- 繋がるため
- 情報を得るため
- 会話をするため

に、ACでは色々なテクニックを使って行なうことになるのですが、その**テクニックはそもそも「能力」を使うためのもの**です。

そして下記にあげた AC に使う能力は全て右脳全開になる必要があります。

言い換えれば、**テクニックはその手順通りに行えば右脳が開く**ということを目的としているのです。

能力とは

- ◆ リーディング⇒読み取る
- ◆ ヒーリング⇒癒す
- ◆ チャネリング⇒話す
- ◆ リンク⇒共感する
- ◆ 透視⇒見る
- ◆ 浄化⇒クリアにする、整える

などのことを指します。

ACの様々なテクニックを学んで、それらを使う時、**そのテクニックで「どの能力」を「何の目的で」使おうとしているのか、理解した上で行うことがとても大切**なのだということがお分かりいただけると思います(^^)♪